

## コミュニケーション・オン・エンゲージメント (COE)

【本コミュニケーション・オン・エンゲージメントが対象とする期間】

2016年6月～2018年5月

( 開始日：2016年6月1日 終了日：2018年5月31日 )

### パート I. 最高責任者による国連グローバル・コンパクトへの継続的支持の表明

以下の枠内に、貴団体の最高経営責任者またはそれに相当する役職が署名した継続的支持の声明を記載してください。

ステークホルダーの皆様へ

私は、一般財団法人電気安全環境研究所が人権、労働、環境、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト 10 原則を支持することをここに確認し、ここに表明いたします。これは、国連グローバル・コンパクトに対する当団体のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様のフィードバックをお待ちしています。

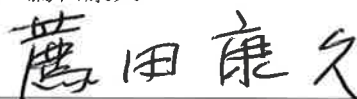
このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、当団体をはじめとする各種組織に対して提案された国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当団体が行った取り組みについて説明しています。また、当団体の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当団体の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様に公表していきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2018年6月8日

一般財団法人電気安全環境研究所

理事長 薦田康久



#### 【国連グローバル・コンパクト 10 原則】

- 原則 1：企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
- 原則 2：企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである
- 原則 3：企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである
- 原則 4：企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである
- 原則 5：企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである
- 原則 6：企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである
- 原則 7：企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである
- 原則 8：企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである
- 原則 9：企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである
- 原則 10：企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

## パート II. 取り組み状況：PUBLIC SECTOR

以下の枠内で、国連グローバル・コンパクトを支持するために貴団体で行った取り組みを説明してください。取り組みには、推奨された具体的活動の1つまたはそれ以上と関連したものを挙げることを強くお勧めします。

### 【PUBLIC SECTOR に推奨される活動】

#### ●グローバル・コンパクト・ローカル・ネットワークに参加すること

ジャパン・ネットワークにおいて、下記の分科会活動に積極的に参加

- ・関西分科会（2016 年度・2017 年度）
- ・サプライチェーン分科会（2016 年度・2017 年度）
- ・GC の社内浸透研究分科会（2017 年度）

#### ●パートナーシッププロジェクトに参加または提案すること

- ・六甲アイランド地域振興会への参加
- ・大阪商工会議所への参加

#### ●グローバル・コンパクトを取り入れ、企業に参加させること

- ・関西検査機関協議会メンバーへの GC 署名の推奨

#### ●特別イニシアティブと活動の流れに参加し、支援すること

- ・関西 SDGs プラットフォームへの参加
- ・次世代医療システム産業化フォーラムへの参加
- ・環境省：環境情報開示基盤整備事業への参加

#### ●世界規模のイベント、地域のイベント、地方のイベントに参加すること

- ・経済産業省キッズデー（子供向けに電気の安全使用について PR）
- ・国際フロンティア産業メッセ（電気製品の安全認証制度を紹介）
- ・六甲アイランドサマーイブニングカーニバル（家電製品の第三者認証マークを紹介）

### パート III. 成果の測定

以下の枠内に、上記パート II で説明した活動の成果を測定する上で、最も適切な定量的／定性的指標を記載してください。

●組織の推進活動により、国連グローバル・コンパクトに新たに参加した企業の数

- ・ 日本食品分析センター (2016-11-16)
- ・ 日本品質保証機構 (2017-07-06)

●国連グローバル・コンパクトの貴国におけるローカルネットワークの目標を推進するために貴団体が提供した専門知識

- ・ GCNJ : サプライチェーン分科会のアウトプット作成に貢献  
「CSR 調達 セルフ・アセスメント・ツール・セット」

<http://www.ungcjin.org/activities/topics/detail.php?id=217>

- ・ GCNJ : GC の社内浸透研究分科会の 2017 年度幹事を引き受け

<http://www.ungcjin.org/activities/session/2017.html>

●貴団体がその COP に関与した国連グローバル・コンパクト参加企業が取り組んだ具体的活動

- ・ 電気用品安全法の概要セミナーを全国各地で展開  
(電気用品安全法の遵守ならびに社会的要請への積極的対応を要請)

●国連グローバル・コンパクトの原則を推進するために、相互の目的に基づいて組織されたパートナーシップ

- ・ 関西 SDGs プラットフォームに設立賛同団体として参加

以上